

「チ一教育 者紹介賞 タロ賞 ペス受賞

日本ユニセフ協会
アグランフ

アグネス

し、支援の必要性を強く提起した。2003年に
うを訪問、戦争の犠牲になった子どもたちの過
況にあることを、帰国後6日間のティーチインで訴えかけ
当たりに7年には再びスーダンを訪れ、政府と反政府勢
はイラクで184万人の難民（うち18歳以下
酷な状況5が暮らすキャンプの状況を
た。200支援の方法を調査してきた。戦争や貧困、飢
力の激化といった大人社会に起因する過
130万人どもたちに実際に接し、彼らに寄り添いながら
観察し、悲痛な声、彼らの「生きる権利」を彼らに代
えや疫病をかける氏の功績は大きい。

ニセフ協会大使としての体験に基づいた氏の
トランティア活動も日本の教育、子どもたちに
重要な意味を有している。氏の自信するメッ

また二、世界の政治や経済の状況が子どもたちにどう影響を及ぼし、いかなる深刻な問題を引き起多大で重なるのかを知らせ、私たち一人ひとりが何をなセージにて考えさせるものである。ひるがえって我がのようなくちたちのものがあふれた生活への問題提起にこしていく。実際に氏は、小学校等を訪れた場で「世すべきか子どもたちへの応援メッセージ」を提案し、学校国との子どい世界の多くの子どもたちの存在に目を向けてもなって、自分たちに何ができるのかよく考えること界の子どに子どもたちに呼びかけている。

へ行けな うに、戦争や貧困という大人社会の悪に立ち
ること、)その過酷な状況の中で生きる子どもたちの救
を日本の)おれの活動は、まさにペスタコッラーがノ

このよう貧民学校やシュタンツの孤児院でめざした向かい、精神に通じるものである。世界の子どもた濟に取り、内に基づいたアグネス・チャン氏の真摯で献イホール、力並びにその多大な功績に対し、第14回ペス教育活動上教育賞を贈呈し、高く顕彰したい。
ちへの愛重
身的な活